



写真:コゲラ (撮影:令和元年5月10日)

「コゲラ」

小さな小さなキツツキ

気 持ちよく晴れたえびの高原の朝、小鳥たちがアカマツのこずえからこずえへ軽やかに飛び回ります。双眼鏡で観察してみると、何種類かの野鳥が群れをつくっているようです。その中に木の幹を下から上へ、ちょこまかと動く野鳥がいます。日本で最も小さいキツツキの仲間コゲラです。日本の周辺にしか生息しておらず、海外からのバードウォッチャーにも人気です。さらに九州産は亜種キウシュウコゲラといい、全体的に少し黒っぽくなります。

枯れ木に穴をあけて中の虫を食べるほか、コケや樹皮の隙間に潜む虫を探します。気になるポイントがあれば夢中になって穴を掘る姿を見ることが出来ます。そんな時は観察の絶好のチャンスです。

森の中、ハイキングをしていると時々「コツ、コツコツ・・・」と木をたたく小さな音が聞こえます。ジツと音のする方を見ていると、コゲラが姿を現します。小さな体で木をつつく、けなげでかわいらしい姿を探してみてください。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

コゲラ
Dendrocopos kizuki

キツツキ目キツツキ科

